

3. 活動内容

(1) 1年間の主な活動内容について記載願います。

【ユネスコスクール研究主題】

豊かな心を持ち、たくましく生きる白井っ子の育成
～知ろう つなげよう 白井のこと、世界の国のこと～

1 学校の沿革と教育目標

本校は、明治6年の開校から140年以上の歴史と伝統をもち、地域の協力と泉自然公園が隣接しているという自然環境に恵まれた学校である。学区は美浜区と同じ広さを持ち、バス通学が4割・自家用車送迎が4割となっている。学校教育目標を「確かな学力と豊かな心を持ち、たくましく共に生きる白井っ子の育成」と掲げ、この地区の人々が育んできた自然と伝統文化を受け継いでいくとともに、世界に目を向けて、異なる文化や習慣をもった人々と共に生きていく資質や能力を育てていきたいと考えている。

2 ユネスコスクールの学年のねらい

低学年…自分の住んでいる地域の文化・自然を知ること。

自分が住む地域とは異なるいろいろな文化や人々の生活があることを知ること。

中学年…地域の伝統文化や歴史、自然の豊かさを大切にしようとする事。

外国の伝統文化や自然、生活習慣に関心を持ち、尊重するとともに自分の地域に誇りを持つこと。

高学年…日本の伝統文化や歴史、自然を学び、その文化を継承しようとする気持ちを持つこと。

世界と日本の文化や歴史を知り、地域の良さを世界に発信しようとする事。

3 ユネスコスクールの学習の経過

平成22年度 「ネパール」文化・生活紹介、民族衣装披露

平成23年度 「スリランカ」民族衣装、民族舞踊

平成24年度 「インドネシア」民族楽器（アングルン）、
インドネシアの国の歌

平成25年度 「マレーシア」ファッションショー、
マレーシア人気のゲーム、マレーシア舞踊

平成26年度 「大韓民国」伝統文化・生活紹介、音楽発表（サムルノリ）

平成27年度 「ベトナム」バンブーダンス体験、ベトナムの歌

平成28年度 「メキシコ」伝統文化ピニャータ体験、「シェリトリンド」合唱

<平成28年度ユネスコスクール実践例>

昨年度までの実践から、児童の関心意欲を高め、効果的にユネスコスクールを実施するためには、「事前学習⇒当日⇒振り返り」といった学習過程を大切にしていく必要がある。そこで、28年度も事前学習として全校にメキシコの世界遺産、民族衣装やスペイン語についてのワークシートを配付し、それぞれの学年の児童の実態に応じた取組みを行った。1年生は担任からメキシコの話聞き、挨拶の練習をした。2年生からは、総合的な学習の時間や特別活動の時間を利用してメキシコについて調べを行い、事前に相手の国のことを知り、当日臨んだ。

<当日の活動の様子>

メキシコからの留学生の方々による自己紹介に始まり、メキシコの自然や観光地、食事を紹介するプレゼンテーション、そして希望者で伝統文化体験としてピニャータを行い、楽しい時間を過ごした。



ピニャータの様子

体育館での交流後、各学級に分かれてメキシコからの留学生の方々と一緒に会食をした。メキシコの生活や子どもたちの様子など様々なことについて話を聞き、日本とは違う文化を垣間見ることができた。2年生では、日本の紙風船や剣玉を紹介し、一緒に遊んだ。



<ユネスコスクール実施後の取組み>

ユネスコスクール実施後の感想をカードに書き、千葉大学留学生課を通じて留学生の方に送った。

<児童の感想より>

カルロスさんのお話は、日本語だったのでよくわかりました。カルロスさんに漢字をもっと教えてあげたかったです。(1年生)

心に残ったのは、「シェリトリンド」をメキシコの方と一緒に歌ったことです。明るくて笑顔になる曲でした。ピニャータも見っていてとても楽しそうでした。メキシコのが好きになりました。(5年生)

<ユネスコスクールのプログラム>

【はじめの会】

- ・ はじめの言葉
- ・ 校歌斉唱
- ・ 学校長挨拶
- ・ ユネスコ協会、留学生の皆さんの紹介

【交流会】

- ・ ユネスコの役割と活動について
- ・ メンバーの紹介
- ・ メキシコの紹介（留学生の皆さん）
- ・ ピニャータ体験と歌「シェリトリンド」

【お礼の会】

- ・ 3、4年生のエイサーと
全校合唱「もみじ」
- ・ お礼の言葉、花束贈呈
- ・ おわりの言葉

3 地域の特徴を生かした教育課程と実践内容

○教育活動

1年生—バスの乗り方教室（特活）、バススケッチ会（図工）「昔遊び名人」（生活）、
「サツマイモパーティ」（生活）、泉公園秋探し（生活）
高齢者との白井交流会（特活）

2年生—「サツマイモパーティ」（生活）、お年寄りとのふれあい活動（生活）、町探検（生活）

3年生—「白井学区調査隊」（総合）、「竹名人になろう」（総合）、「パン作り」（社会）

4年生—「白井今昔物語」（総合）・白井オリジナルペレット「ふるさと」（音楽）、戦争講話（特活）、

5年生—バケツ稲作り（総合）、福祉施設訪問（総合）、太巻き作り（家庭）、救命救急教室（体育）

6年生—妙興寺スケッチ（図工）、土器作り（社会）、ならせ餅作り（社会）、
どんど焼き（特活・総合）

全 校—農作物作り、全校ジョギング、泉公園春の遠足、秋のオリエンテーリング、「白井っ子まつり」
その他の地域行事

—敬老会での発表（4年生）、町民フェスティバル発表（3・4年）

白井ふれあい大相撲（1～6年）、公民館フェスティバル作品展示（代表）

○実践内容

（1）泉自然公園での全校ジョギング

—体育学習の発展として—

①期日 通年で毎週水曜日の業間
10:05～10:20

②活動場所 泉自然公園内

③参加者 全校児童

④内容 学校～農道～公園内の1.2kmコースを
時間内に走る。木々の匂いや鳥の鳴き声

など四季の移ろいを感じながら、気持ちよく走ることができる。また、公園内の
坂や階段のアップダウンによって体力向上も図れる。



（2）泉自然公園でのオリエンテーリング

—理科教育と関連して—

①期日 10月の第3金曜日

②活動場所 泉自然公園内

③参加者 全校縦割りグループ

④内容 草原をスタートとし、グループで
公園全体を移動して活動する。

各ポイントに先生方が立ち、「何の音がしますか。5つ探しましょう。」など
泉公園に関するクイズを出す。自然公園内の動物や植物に興味をもてるよう
に先生方が毎年工夫を凝らす。



(3) 地域の伝統文化「どんど焼き」

—総合的な学習の時間の発展として—

①期日 毎年1月の下旬

②活動場所 地域の方の敷地

③参加者 6年生・地域の協力者

④内容 どんど焼きは、子どもたちの無病息災を祈り、正月飾りなどを焚きあげる。地域の方々が事前に木

の枝や竹を切って準備し、前日に6年生とともにやぐらを組む。当日児童は、書き初め作品やならせ餅を持参し、地域の方々とともに伝統行事を行う。その後、地域の方や警察の方からのお話を聞きながら、会食を行う。



(4) お年寄りとの交流〈1年「白井交流会」・2年「町探検」・5年「共にくらそう」〉

—福祉教育の実体験—

①期日 10月～12月

②活動場所 グループホーム、白井公民館、本校他

③参加者 施設職員、公民館職員、それぞれの学年児童

④内容 1年…公民館で地域の高齢者が集う会に参加し、一緒に遊んだり、発表したりする。(H28より)

2年…グループホームを訪問し、利用している方の思いや職員の願いを聞く。

後日、地域の高齢者の方を招いて町探検で調べたことを発表し、会食をする。

5年…福祉の学習の一環として、自分たちにできることとして複数の施設の訪問を行う。



4 実践を振り返って

ユネスコスクールに加盟し5年目を迎え、千葉市ユネスコ事務局の方、地域の方の協力を得て、様々な体験活動を行うことができた。自分の住んでいる地域のことを知り、地域を愛する心を育てるために、これからも学校を中心として保護者や地域の方々と連携を図りながら、「豊かな心をもった白井っ子の育成」を目指してより一層の教育活動の充実を図っていきたい。

また、これからの社会を生きる子どもたちに必要な力を身に付けさせつつ、「白井小学校で学んでよかった」と思えるような特色ある教育活動の継承を行っていきたい。

(2) 活動時間について（下記から選択して下さい。）

- 通常の授業時間を使用（総合的な学習の時間を含む）
- 時間外活動の時間を使用
- ユネスコクラブの活動として実施
- その他（

）